



(藤井達吉記念室 展示室 4)

碧南市藤井達吉現代美術館

碧南市藤井達吉現代美術館は、平成 20 年の開館以来、碧南市出身の美術工芸家・藤井達吉（1881-1964）の顕彰を中心に、多彩な企画展や教育普及など、皆様に親しまれる美術館を目指して活動を展開してきました。この度、収蔵庫等増設・改修事業による約 3 年間の休館を経て、令和 5 年 5 月 2 日にリニューアルオープンしました。収蔵庫増設のほか、新たに藤井達吉記念室 展示室 4（常設展示室）、多目的室 A、授乳室、保存修復室、そして大型美術品運搬専用車を収納するダブルシャッター付の搬入口を新設しました。藤井の芸術を発信する藤井達吉記念室は、和を基調に一部に畳敷きの小上がりを設け、工芸と生活空間との一体を目指した藤井の芸術観を体現できる魅力ある空間となりました。今後も、藤井が生きた時代と現代とをつなぐ芸術文化の発信地となるよう、努めてまいります。新しくなった碧南市藤井達吉現代美術館にぜひご期待ください。

目 次

●愛知県博物館協会 令和 5 年度総会のご報告	2
●表紙館のご紹介	12

愛知県博物館協会 令和5(2023)年度総会のご報告

愛知県博物館協会の令和5年度総会が6月1日(木)、愛知県陶磁美術館において、参加館46館71名(委任状42館)が出席するなかで開催された。当日の総会概要は以下のとおりである。

1. 開会
2. 会長あいさつ
3. 議事

議長(会長 愛知県陶磁美術館 館長 佐藤一信 氏)

議題

《1》令和4(2022)年度 事業報告および決算報告

1 事業

(1) 記念講演会の実施

- ・日時 令和4年6月30日(木) 15時45分～17時15分
- ・会場 愛知県陶磁美術館 本館地下1階 講堂
- ・演題 東海3県主要集客施設の集客動向について
- ・講師 加藤 千晶 氏(三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社
政策研究事業本部 名古屋本部 研究開発部 兼 政策研究事業本部 観光戦略室)

(2) 職員等研修会

【担当: 愛知県美術館・一宮市三岸節子記念美術館・刈谷市歴史博物館・新城市設楽原歴史資料館・名古屋科学館】

- ・日時 令和4年11月29日(火) 13時30分～16時
- ・内容 博物館のリニューアルについて、リニューアル前の名古屋市博物館を見学
- ・会場 名古屋市博物館
(Zoom ウェビナー形式による講演会及び現地見学会(非オンライン))
- ・講師 湯浅 大司 氏(設楽原歴史資料館 館長)
前野 絵里 氏(藤田美術館 主任学芸員)
瀬川 貴文 氏(名古屋市博物館 学芸課長)
- ・参加者 42名+31台(オンライン参加端末数)

(3) 部門別研修会

【担当: 岡崎市美術博物館・とこなめ陶の森・豊橋市美術博物館】

- ・日時 令和5年3月7日(火) 14時～15時30分
- ・会場 穂の国とよはし芸術劇場プラット 研修室(大)
- ・内容 漆芸文化財の養生・クリーニング体験ワークショップ
- ・講師 松本 達弥 氏(東京藝術大学大学院 文化財保存修復工芸研究室 非常勤講師、
日本工芸会監事、日本文化財漆協会常任理事、漆芸家)
- ・参加者 39名(会場25名・YouTube Liveによるオンライン配信視聴者:14名)

(4) 表彰

愛知県博物館協会表彰規程に基づき、表彰を行う。

- ・令和4年度表彰者
小林 弘昌 氏（あま市七宝焼アートヴィレッジ 元館長）
伊藤 和孝 氏（蟹江町歴史民俗資料館 元副館長）
長谷川 道明 氏（豊橋市自然史博物館 学芸専門員）
村松 和明 氏（岡崎市美術館 館長）

(5) 印刷物の編集・発行

- ・協会報「愛知の博物館」2回 電子媒体発行
【担当 秋期：トヨタ博物館 春期：徳川美術館】

→通常通り発行。

秋期（令和4年9月16日HP掲載）・春期（令和5年3月31日HP掲載）

- ・「おでかけガイド」2回発行
【担当 秋期：名古屋市博物館 春期：博物館明治村】

→通常通り発行。各26,000部

秋期（令和4年10月26日HP掲載）・春期（令和5年3月31日HP掲載）

(6) HP 運営

【担当：愛西市佐織歴史民俗資料室・熱田神宮宝物館・昭和美術館】

- ・令和5年2月28日 さくらインターネット プレミアムへ新規ウェブサーバの移転
- ・Twitter告知（担当：愛西市佐織歴史民俗資料室）

(7) 災害発生時の対応

【担当：会長館（愛知県陶磁美術館）・副会長館（トヨタ博物館）・前会長館（名古屋市科学館）・次期会長館（名古屋市博物館）・次々期会長館（愛知県美術館）】

- ・令和5年1月6日（金）加盟館へ「トヨクモ安否確認サービス2へのログイン及びプライベート連絡先登録の案内」を送信
- ・令和5年1月13日（金）午前10時 非常災害訓練（震度6弱を想定）
- 加盟館へ「【愛知県博物館協会】非常連絡訓練」を予約送信
- ・令和5年3月4日（土）加盟館へ結果報告を送信

(8) 他協会

○令和4年度 東海地区博物館連絡協議会及び日本博物館協会東海支部総会

- ・日時 令和4年7月28日（木）
理事会 11時～11時50分
総会 13時30分～14時30分
研修会 15時～16時30分

- ・会場 静岡市民会館
- ・研修会 静岡市歴史博物館（施設見学）

○令和4年度 東海三県博物館協会研究交流会

- ・日時 令和4年12月7日（水）13時～16時20分
- ・会場 セラミックパークMINO イベントホール（非オンライン）
- ・内容 博物館資源のデジタルデータベース化の現状と今後

- ・講演 コレクション管理の考え方と方法
- ・講師 金山 喜昭 氏（法政大学キャリアデザイン学部 教授）
- ・報告1 「博物館における地域資源データベースの展開」
可児 光生 氏（美濃加茂市民ミュージアム 館長）
- ・報告2 「コレクションのデータを公開するとどんないいことがあるのかー愛知県美術館の事例から」
副田 一穂 氏（愛知県美術館 主任学芸員）
- ・報告3 「三重県総合博物館（MieMu）でのデータベース運用と課題」
守屋 和幸氏（三重県総合博物館 館長）

2 会議

(1) 理事会

- ・日時 令和4年6月30日（木）13時～14時
- ・会場 愛知県陶磁美術館 本館地下1階 講堂

(2) 総会

- ・日時 令和4年6月30日（木）14時30分～15時30分
- ・会場 愛知県陶磁美術館 本館地下1階 講堂

(3) 実行委員会 随時（年間8回程度）

- 第1回 日時 令和4年4月28日（木）13時30分～15時30分
会場 愛知県陶磁美術館 本館3階会議室（オンライン併用）
本年度事業計画と役割分担、協会表彰 他
- 第2回 日時 令和4年5月27日（木）13時30分～15時30分
会場 愛知県陶磁美術館 本館3階会議室（オンライン併用）
本年度理事会・総会の内容及役割分担 他
- 第3回 日時 令和4年9月1日（木）13時30分～15時30分
会場 愛知県陶磁美術館 本館3階会議室（オンライン併用）
本年度理事会・総会開催報告、研修会、印刷物、HP、災害対策 他
- 第4回 日時 令和4年11月10日（木）13時30分～15時30分
会場 愛知県陶磁美術館 本館3階会議室（オンライン併用）
研修会、HPの運営、災害対策 他
- 第5回 日時 令和4年11月29日（木）10時30分～11時30分
会場 名古屋市博物館 1階 展示説明室
研修会、災害対策 他
- 第6回 日時 令和5年1月18日（水）15時30分～17時
会場 熱田神宮宝物館
研修会、印刷物、災害対策 他
- 第7回 日時 令和5年2月16日（木）13時30分～15時30分
会場 愛知県陶磁美術館 本館3階 会議室（オンライン併用）
研修会、印刷物、HP、災害発生 他
- 第8回 日時 令和5年3月29日（水）13時30分～15時30分

会場 愛知県陶磁美術館 本館 3 階 会議室 (オンライン併用)

研修会、HP、災害対策、令和 5 年度理事会・総会 令和 6・7 年度役員 他

(4) 災害対策分科会 随時

第 1 回 日時 令和 4 年 9 月 1 日 (金) 15 時 50 分～16 時 30 分

会場 愛知県陶磁美術館 本館 3 階 会議室 (一部 Webex 併用)

非常時連絡 WEB サービス導入について

第 2 回以降

日時 令和 4 年 12 月 7 日 (水) から随時

会場 トヨクモ安否確認サービス 2 無料トライアル (オンライン)

令和 4 年度非常連絡訓練について

議題

《2》令和 5 (2023) 年度 事業計画 (案) および予算 (案)

1 事業

(1) 記念講演会の実施

- ・開催日 令和 5 年 6 月 1 日 (木)
- ・会場 愛知県陶磁美術館 本館地下 1 階 講堂
- ・演題 文化芸術への公的支援に対する市民理解の構造
～博物館の生き残り戦略を考えるにあたって～
- ・講師 綿江 彰禅 氏 (一般社団法人 芸術と創造 代表理事)

(2) 表彰

愛知県博物館協会表彰規程に基づき、表彰を行う。

- ・功労賞、奨励賞ともに推薦なし。

(3) 職員研修会 (企画展などの見学会を実施)

【担当：愛知県美術館・熱田神宮宝物館・長篠城址史跡保存館・豊田市美術館】

- ・日時 例年 10 月～11 月頃
- ・会場 未定

(4) 部門別研修会 (調査・研究、教育・普及、保存・修復の研修会を実施)

【担当：岡崎市美術博物館・刈谷市歴史博物館・とこなめ陶の森・徳川美術館・豊橋市美術博物館】

- ・日時 例年 12 月～翌年 3 月
- ・会場 未定

(5) 印刷物の編集・発行

- ・協会報「愛知の博物館」2 回 電子媒体発行

【担当 秋期：名古屋市科学館 春期：トヨタ博物館】

- ・「おでかけガイド」2 回 発行

【担当 秋期：博物館明治村 春期：名古屋市博物館】

(6) HP 運営

【担当：愛西市佐織歴史民俗資料室・一宮市三岸節子記念美術館・昭和美術館】

- ・HP 更新・運営
- ・Twitter 運用

Twitter 告知担当：愛西市佐織歴史民俗資料室

(7) 災害発生時の対応

【担当：会長館（愛知県陶磁美術館）・副会長館（トヨタ博物館）・前会長館（名古屋市科学館）・次期会長館（名古屋市博物館）・次々期会長館（愛知県美術館）】

- ・トヨタモ安否確認サービス2 プレミアプラン契約（令和5年7月～令和6年3月31日）
※令和6年度から年間契約を予定
- ・非常連絡訓練（令和4年度実施方法、被災状況の共有（情報公開））

(8) その他

○令和5年度東海地区博物館連絡協議会及び日本博物館協会東海支部総会

- ・日時 未定 例年7～9月
- ・会場 未定（愛知県）

○令和4年度東海三県博物館協会研究交流会

- ・日時 未定
- ・会場 未定（三重県）

2 会議

(1) 理事会

- ・日時 令和5年6月1日（木） 13時00分～14時00分
- ・会場 愛知県陶磁美術館 本館3階 会議室

(2) 総会

- ・日時 令和5年6月1日（木） 14時30分～15時30分
- ・会場 愛知県陶磁美術館 本館地下1階 講堂

(3) 実行委員会随時 年間8回程度

※原則、対面開催、オンライン併用

議題

《3》愛知県博物館協会次期役員の選出について

任期は令和6年4月から令和7年3月まで

役職名	館（園）名	代表者名	備考
理事	名古屋市博物館	館長 小林 史郎	会長 令和6年度より交代
理事	トヨタ博物館	館長 布垣 直昭	副会長
理事	稲沢市荻須記念美術館	館長 長谷川 隆	令和6年から一宮市三岸節子記念美術館より交代
理事	熱田神宮宝物館	館長 多賀 顕	継続
理事	岡崎市美術博物館	特任館長 榊原 悟	継続
理事	弥富市歴史民俗資料館	館長 伊藤 隆彦	令和6年から愛西市佐織歴史民俗資料室より交代
理事	昭和美術館	館長 柳澤 幸輝	継続
理事	刈谷市歴史博物館	館長 田代 英徳	継続
理事	豊田市美術館	館長 高橋 秀治	令和6年度より新任
理事	武豊町立歴史民俗資料館	館長 山下 恵広	令和6年度からとこなめ陶の森より交代
理事	豊橋市自然史博物館	館長 坂本 博一	令和6年度から豊橋市美術博物館より交代
理事	名古屋市科学館	館長 大路 樹生	継続
理事	博物館明治村	館長 中川 武	継続
理事	新城市設楽原歴史資料館	館長 湯浅 大司	継続
理事	愛知県陶磁美術館	館長 佐藤 一信	令和6年度より交代
監事	徳川美術館	館長 徳川 義崇	継続
監事	愛知県美術館	館長 拝戸 雅彦	令和6年度より交代

役員、実行委員・事務局の一部が下記のとおり交替した。引き続き、会員各位のご協力のほど、よろしく願います。

令和 5(2023)年度 愛知県博物館協会役員

任期は令和 6 年 3 月まで

役職名	館（園）名	代表者名	備考
理事	愛知県陶磁美術館	館長 佐藤 一信	会長 継続
理事	トヨタ博物館	館長 布垣 直昭	副会長 継続
理事	一宮市三岸節子記念美術館	館長 久保 禎子	令和 5 年度より交代
理事	熱田神宮宝物館	館長 多賀 顕	継続
理事	岡崎市美術博物館	特任館長 榊原 悟	継続
理事	愛西市佐織歴史民俗資料室	生涯学習課 課長 石田 泰弘	継続
理事	昭和美術館	館長 柳澤 幸輝	継続
理事	刈谷市歴史博物館	館長 田代 英徳	継続
理事	とこなめ陶の森	館長 吉川 和彦	継続
理事	豊橋市美術博物館	館長 岡田 亘世	令和 5 年度より交代
理事	豊田市郷土資料館	館長 児玉 文彦	令和 4 年 9 月閉館、退会
理事	名古屋市科学館	館長 大路 樹生	令和 5 年度より交代
理事	博物館明治村	館長 中川 武	継続
理事	新城市設楽原歴史資料館	館長 湯浅 大司	継続
理事	愛知県美術館	館長 拝戸 雅彦	継続
監事	徳川美術館	館長 徳川 義崇	継続
監事	名古屋市博物館	館長 小林 史郎	令和 5 年度より交代

令和 5(2023)年度 愛知県博物館協会実行委員

館（園）名	実行委員氏名	備考
愛知県陶磁美術館	田畑 潤	継続
トヨタ博物館	藤井 麻希	継続
一宮市三岸節子記念美術館	成河 瑞子	令和 5 年度より交代
熱田神宮宝物館	内田 雅之	継続
岡崎市美術博物館	金沢 実徳	令和 5 年度より交代
愛西市佐織歴史民俗資料室	佐藤 成浩	継続
昭和美術館	後藤 さち子	継続
刈谷市歴史博物館	山下 智也	令和 5 年度より交代
とこなめ陶の森	小栗 康寛	継続
豊田市美術館	成瀬 美幸	令和 5 年度より交代
豊橋市美術博物館	久住 祐一郎	継続
名古屋市科学館	堀内 智子	継続
博物館明治村	森川 由佳子	令和 5 年度より交代
長篠城址史跡保存館	加藤 沙也果	理事館は設楽原歴史資料館
愛知県美術館	石崎 尚	令和 5 年度より交代
徳川美術館	長谷川 円	継続
名古屋市博物館	岡村 弘子	令和 5 年度より交代

令和 5(2023)年度 愛知県博物館協会事務局

役職	館（園）名	実行委員氏名	備考
事務局長	愛知県陶磁美術館	大槻 倫子	愛知県美術館学芸課長
事務局	〃	日置 英鋭	同館副館長兼総務課長
〃	〃	田畑 潤	同館学芸課主任学芸員
〃	〃	鮫島 由佳	同館学芸課学芸員
〃	〃	渋谷 大樹	同館総務課主事
〃	〃	樟木 さやか	同館総務課主事

報告

(1) 令和4(2022)年度末 退会館

豊田市郷土資料館、国宝 犬山城

加盟館数：116館（令和5年6月1日現在）

(2) 東海地区博物館連絡協議会・東海三県博物館協会研究交流会

令和5年度は、東海地区博物館連絡協議会は愛知県が会長、東海三県博物館協会研究交流会は三重県が当番。

その他

あいち県民の日・あいちウィークの取組について

4. 閉会

(愛知県陶磁美術館 主任学芸員 田畑 潤)

《記念講演会》

総会終了後、記念講演会を実施した。

演題 文化芸術への公的支援に対する市民理解の構造

～博物館の生き残り戦略を考えるにあたって～

講師 綿江 彰禪 氏（わたえ あきよし 一般社団法人 芸術と創造 代表理事）

今回の記念講演会は、サブタイトルに「博物館の生き残り戦略」とあらわされる通り、命運を賭けた博物館の将来の展望について、アンケート調査結果の数字を挙げて市民による美術館・博物館への感じ方、また、期待するものは何か、今後に向けてどうあるべきかについてお話しを頂戴した。

講師は名古屋大学大学院経済学研究科を修了、民間の情報サービス企業に就職、慶應義塾大学大学院では文学研究科を修了された。平成28年独立、これまでに文化庁をはじめ各地方行政自治体の諸事業に参画、文化政策・産業政策・文化施設運営に関するコンサルティングに尽力されている。

今回の講演会では、「文化芸術への公的支援に対する市民の認識：弊社1万人調査を基に」・「そもそも公的支援とは」・「市民に支えられることについて：文化施設のケースを基に」・「さいごに」の4本の柱を軸にお話しを伺った。

まず、「文化芸術」を「①愛好・鑑賞」・「②重要性の認識」・「③公的支援への理解」についてアンケート結果を示しながら解説頂いた。①は複数回答ながらも人々の趣味において文化芸術（映画・美術品・音楽・芸能鑑賞など）を選択した人は49%とまずまずの数値を示していた。さらにそれら文化芸術を1年間に実際鑑賞された人は61%！これも悪くない！！



さらに②で文化芸術を重要だと考えている人は72%!!!（「重要ではない」との回答者は16%） わが国民は文化芸術を愛しているのではないかな♪ しかし、すべて上々なら表題のような深刻なテーマで講話頂く必要もなく…

③については国や自治体の予算（公的支援）を文化芸術に振り分けるか否かという設問で、「優先的に振り分けるべきではない」と答えた人が43%、「優先的に振り分けるべきだ」の34%を上回る結果がでた。さらに雲行きは怪しくなっていく…これからが今回のメインである。

「公的支援」つまり、「税金」の遣い道の優先度から見たアンケートでは「医療・福祉・介護体制の充実（61.3%）」、「防災・減災（41.7%）」、「子育ての充実（29.2%）」という項目が上位を占め、「文化芸術の振興」は選択肢20項目の内、「観光産業の振興」と同率で15位（5.5%）であった。まあ、それはそうかも知れない。半百に至り、刀匠を目指して名を馳せた先人もいたが、自身やはりこの歳になると医療・福祉・介護の充実に対し優先的に公的支援をして頂きたいと思うものである。巷間、「予算が最後につくのは文化事業、真っ先に予算が削られるのが文化事業」と言われる由縁と現実がここにある。これは公的支援を受ける公立館だけの話しではなく、法人・企業が母体の文化施設も同様、いや、それ以上にシビアなものである。

では、文化芸術振興充実の優先順位を上げるにはどうすれば良いのか。平成8年から令和元年にかけての文化芸術鑑賞者数（実際の文化芸術鑑賞数）の割合はほぼ横ばいであるという調査結果が出ており、増加傾向にはない。よって、愛好者を繋ぎとめる努力は引き続き行うことは勿論、実際に芸術施設には赴かないものの文化芸術への公的支援を是とする理解者層、愛好者層、非愛好者層を振り向かせることに重点を置くことが必要であることを論じられた。

然は然り乍ら、そもそも公的資金とは何なのか。それは何に利用されることが出資者（国民・県・市民）にとって有益であると感じられるのか。道路・上下水道をはじめとする、所謂「ライフライン」と文化芸術を同じ土俵に上げること自体無茶な話しであると思うが、その財源は同じ税金から成る「公的資金」である。ならば、文化施設に足を運ばない・関心のない市民に対し、「施設がどのような活動をしているか」・「地域において」どのような社会的役割を担っているか」・「どうして公的支援が必要か」を明確に言語化し、普及することが施設の大きな役割であると説かれた。さらに文化芸術施設がなくなった時に、市民が損害を蒙ったと感じさせる魅力ある施設作り・構想・理念が必要であるとも述べられた。

ただ、われわれ学芸員、また教育普及に従事している関係者各位もただ手をこまねている訳ではない。現場にいるからこそ感じる来館者の気持ち・空気も感じ取ることができる素晴らしい環境にいることも忘れてはならない。モノや展覧会を通して各館の存在価値、しかも目に見えない「無形の価値」を感じさせ、それが回り回って、その無形の価値の積み重ねが国力となり、また国としての誇り・威厳を保つことになるのだと感じた。学校団体の見学の質疑応答時に児童の「何故絵を展示するのか」という質問に対し「展覧会でお腹いっぱいにはならないが、胸はいっぱいになる」と答えたところ、引率教員が（良い回答だと）喜んだと語られた、公立館で定年を迎え、現在は私立館に籍を置く古老の学芸員の発言はその証左になる。

今回の講演会で特筆されるのは、来館者へのアンケート結果に基づいたデータではなく、非来館者も含めた無作為によるアンケートで得られた数値を明示して頂いたという、今までに得ることのできなかつた値、また意見であるという点である。欧米に「右に倣え」ではなく、「日本とは何か」・「日本人とは何か」を、語らぬ「モノ」で語らせることが出来るのがわれらの特権と踏まえ、前述の理解者層・非愛好者層を巻き込み、日本の伝統・文化・芸術・精神を再構築させるきっかけとなることが、今後の博物館生き残りをかけた使命であることを再認識させて頂くこととなった貴重な講演内容であった。

（熱田神宮宝物館 学芸員 内田 雅之）

表紙館のご紹介

■碧南市藤井達吉現代美術館

【開館時間】

10:00～17:00（企画展の受付は16:30まで）

【休館日】

月曜日（月曜日が休日に当たるときは、その翌平日）
年末年始（12月29日～1月3日）
※展示替等のため、臨時休館することがあります。

【入館料】

無料
企画展観覧料は展覧会ごとに定めます。
※市内在住・在学の小中学生・高校生、市内在住の65歳以上の方、各種手帳をお持ちの方と付き添い1名は無料。受付に証明するものをご提示ください。

【所在地】

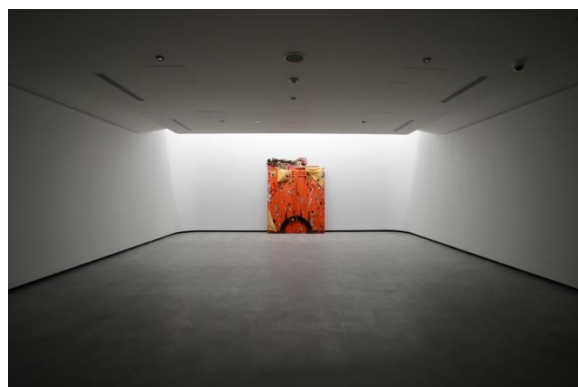
〒447-0847 愛知県碧南市音羽町一丁目1番地
TEL 0566-48-6602 FAX 0566-48-6603
<https://www.city.hekinan.lg.jp/museum/index.html>

【交通手段】

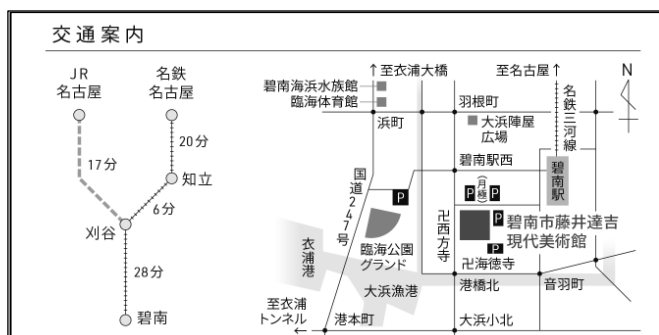
〔電車〕名古屋より 名鉄本線「知立駅」乗り換え、名鉄三河線「碧南駅」下車、南西方向へ徒歩6分
JR 東海道線「刈谷駅」乗り換え、名鉄三河線「碧南駅」下車、南西方向へ徒歩6分
〔自動車〕知多半島道路・阿久比ICから車で約20分（衣浦大橋を渡って右折）
※駐車台数に限りがありますので、公共交通機関等をご利用ください。



外観



多目的室A



「愛知の博物館」 No.117

発行日 令和5年9月30日
編集・発行 愛知県博物館協会
〒461-0965
愛知県瀬戸市南山口町234番地
愛知県陶磁美術館内
TEL 0561-84-7474